

# 生活支援体制整備事業

## 地域みんなで協力しながら 暮らせるまちづくりのために

高齢になっても、介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく生活するために、鎌ヶ谷市社会福祉協議会では、平成30年度より鎌ヶ谷市からの委託を受けて、「地域包括ケアシステム」の一部である「生活支援体制整備事業」を推進しています。

市内6コミュニティエリアに生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の誰もが住み慣れた地域で、生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、「介護予防」と「生活支援」に重点を置き、「協議体」という住民の方々が主体となった話し合いの場を設置しています。



社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会

電話 047-444-2231 FAX 047-446-4545

## 鎌ヶ谷市における第2層協議体の取り組み

### 北部地区第2層協議体「たすけあい活動あさか」

北部地区第2層協議体では、コロナ禍で会議等の中止を余儀なくされていましたが、委員長・副委員長を中心に事前打ち合わせ会を行ってきました。その間に『向こう三軒両隣の輪を広げよう！』啓発グッズを作製し、地域の関係者へ配布し、「たすけあい活動あさか」の活動のPRとして準備をしています。

今後、第2層協議体では、今まで地域の皆様からのご意見にあった「お年寄り等が集える場」の活用など、3自治会長や地区社協会長をはじめ、地域の関係者のご理解とご協力をいただきながら北部地域にとって、どのような活動が必要なのか、今後も話し合いを深めていく予定です。



啓発用に作製しました。



自治会長からも助言をいただきました。

### 東部地区第2層協議体

東部地区第2層協議体では、困ったときに相談が出来る連絡先を一覧にした「お助け電話帳」を令和元年に作成しました。電話帳は東部地区内に配布し、東部地区での安心な暮らしに役立っています。

また、令和3年12月17日に、感染症拡大防止のため延期していた第2層協議体会議を1年ぶりに開催し、東部地区における人やモノなど様々な地域資源の発掘や高齢化に向けた小規模の人数で集まれる談話室・安否確認の必要性などについて意見交換を行いました。今後は、具体的な取り組みについて話し合いを進める予定です。



東部地区にこだわり作成した『お助け電話帳』  
今後、情報の更新についても検討中です。

### 南部地区第2層協議体「南部ささえあい協議体」

南部地区第2層協議体では、おしゃべりが苦手な方や、普段なかなか外出の機会がない方など、誰もが気軽に参加できる『ミニ講座』の開催を進めています。

南部公民館が遠い方でも参加していただけるよう、南部地区内への出張講座の開催も予定しています。

当日は、運営ボランティアも募集していますので、生活支援コーディネーターまでお気軽にご連絡ください。

(442-5143 南部地区社協内)

大人気「楽しい漢字のおはなし」講座  
普段何気なく使っている漢字の成り立ちなどを楽しく学びました。



ミニ講座に先立ち、  
チェアヨガで心も  
身体もリラックス  
しました。







『声かけ隊』の活動の様子です。

## 西部地区第2層協議体

西部地区第2層協議体は、令和2年2月に設置しました。

協議体で会議を重ね、令和3年4月に「気づくこと・見守ること・支えること」を合言葉に「声かけ隊」を発足しました。「声かけ隊」の活動は、無理せず楽しくをモットーに、月2回のペースで地域を見回り、行き会う方々に声かけを行っています。

これから、「声かけ隊」を地域の方々に知っていただき、生活上の心配ごとを吸い上げ民生委員児童委員や行政、地域包括支援センター等へ繋げ、安心して生活できる地域づくりを目指します。

## 中央東地区第2層協議体

中央東地区では、協議体の設置について何度も話し合いを重ね、令和3年12月6日に第1回目の協議体会議を開催しました。

当日は、「地域で気になっていること」を自由に発言してもらいました。

- 市役所や公民館、地域包括支援センターが遠いので、困ったときに、身近なところで専門家による相談ができる場所が欲しい。
- 高齢者が多いので、地区内のスーパーで食品配達をしてもらいたい。
- 新しい住宅も増えているが自治会に加入しない家庭が多い。など、地域の課題について活発な意見交換となりました。今後も地域の課題や、その解決に向けて話し合いが進められる予定です。



「地域で気になっていること」をテーマに意見交換を行ったところ、あっと言う間にホワイトボードが意見でいっぱいになりました。

## 中央地区第2層協議体

中央地区では、生活支援体制整備事業について、地区内の自治会長への協力依頼や、中央地区民生委員児童委員協議会でも事業概要の説明を行ってきました。また、協議体の設置についても協議を重ね、第2層協議体を開催することとなりました。

今後は、地区内で行われている様々な福祉活動の情報交換や地域の中で生活されている方々が感じていることを改めて伺いながら、地域の課題やその解決策などについて、住民主体で話し合う予定です。



## 鎌ヶ谷市における第1層協議体と第2層協議体

### 第1層協議体（市全体）



鎌ヶ谷市では、市全体として第1層の協議体を設置しています。「第1層協議体」では、第2層協議体で解決に至らないような広範囲な課題について、報告や検討をしていきます。

また、「第2層の協議体」では、より身近な地域についての話し合いを行っています。

現在、協議体のメンバーは、自治会、民生委員児童委員、地域包括支援センター、鎌ヶ谷市、社会福祉協議会などで構成されています。話し合う内容や地域により、構成メンバーが異なるのも「協議体」の特徴です。

また、協議体には、協議体の運営や社会資源の把握、資源と資源を必要としている人とのマッチング、その他コーディネートを担う「生活支援コーディネーター」が配置されています。

### 協議体、コーディネーターの配置・構成例



## 「生活支援コーディネーター」ってなあに？

いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく元気に過ごすことができるような地域づくり、仕組みづくりを目指して活動しています。

自治会、民生委員児童委員、地域包括支援センター、行政機関、地域に根ざした企業などと協働し、身近な地域で支えあえる体制づくりを進めていきます。

## ホームページ上に社会資源マップを作成

社会資源とは、人々がニーズを満たし、課題を解決するために活用される様々な施設、物、情報などを指します。ここでは、地域のサロンなどの情報を中心に掲載しています。

現時点ではわずかな情報となっておりますが、これから充実させていきたいと考えていますので、皆様からの社会資源情報をお待ちしております。（掲載情報の更新タイミングにより、実際と異なる可能性がありますので、ご了承ください）

